エポック No. 139

令和8年（2026年）9月発行

千代田区生涯学習推進委員会議だより

第16期生涯学習推進委員会がスタートしました

令和8年度から始まる第16期千代田区生涯学習推進委員会の第1回会議が開催され、新たな委員による活動がスタートしました。委員会は、大学関係者、学校関係者、地域団体関係者、スポーツ推進委員、青少年委員、公募委員など、多様な立場の委員で構成されており、今後2年間にわたり千代田区の生涯学習の推進について検討を進めていきます。

会議では、委員および事務局の自己紹介に続き、会長・副会長の選出が行われ、前田耕司会長、佐藤千津副会長が選出され、第16期委員会の運営を担うこととなりました。

今期の検討テーマ（案）

多様な人が誰でも自然に関われる『学びの循環』の仕組みづくり

このテーマには、国が重視するウェルビーイングの実現や、新たな九段生涯学習館の整備を見据えながら、若年層や在勤者、外国人、障害のある方など、多様な人々が学びを通じてつながる環境をつくり、学んだ成果を地域活動や次世代育成へとつなげていくことへの期待が込められています。

■ 検討の主要な柱（5つの視点）

- **多様な人々の参加促進：** 在勤・在住・若い世代・障害者・外国人の参画
- **人と人とのつながりの創出：** 身近で緩やかな関わりの場
- **地域活動への展開：** 学んだ成果を地域社会へ還元
- **次世代育成への活用：** 世代間交流と学びの継承
- **ウェルビーイングの実現：** 個人の幸せと地域の豊かさ

第1回会議における主な意見交換

意見交換では、「在勤者と在住者の交流が重要である」「災害時にも支え合える地域コミュニティづくりにつながる学びが必要」「過去の提言がどのように施策へ反映されたのか分かる仕組みがほしい」など、実効性を意識した活発な意見が出されました。

年間スケジュールの概要（案）

今後はおおむね5回の会議を通じて論点整理や事例研究、意見交換を重ねながら提言内容を検討し、次年度の提言書取りまとめを目指します。

回数	審議内容・討議のポイント
第1回（6月26日）	委員・事務局自己紹介、会長・副会長選出、今期テーマ案の提示と意見交換
第2回（8月27日）	テーマの深掘り、関連事例・文献資料の整理、議論の論点
第3回（10月頃）	意見交換の深化、具体的論点と「学びの循環」モデルの検討
第4回（12月頃）	今年度提言の骨格抽出、不足・補足事項の検証
第5回（3月頃）	提言に向けた骨子取りまとめ、次年度への課題確認
次年度（第6~9回）	段階的な提言書作成、最終回にて区長へ提言書を手渡し提出

千代田区らしい「学びの循環」に向けて

昼間人口と夜間人口の差が大きく、多種多様な人々が集う千代田区ならではの特性を活かし、誰でも自然に学びに関われる枠組みを築いていきます。また、新しい生涯学習館やスポーツセンターの整備と、生涯学習の仕組みづくりを連動させていくことの重要性も共有されました。

第16期 千代田区生涯学習推進委員 名簿　令和8年度（敬称略） / ※印の6名は社会教育委員兼任

No.	氏名	所属団体等名称
1	※前田 耕司 会長	早稲田大学教育・総合科学学術院 名誉教授
2	※佐藤 千津 副会長	国際基督教大学教養学部 アーツ・サイエンス学科 教授
3	麻生 徹	昌平評議会コミュニティスクール運営委員会
4	清水 水尾	千代田区障害者共助会
5	阿部 俊裕	千代田区文化連盟会長
6	※大場 節子	千代田区スポーツ推進委員協議会
7	※村木 さをり	千代田区青少年委員会
8	※赤塚 宏子	大妻中学高等学校 校長
9	※服部 達彦	千代田区立和泉小学校 校長
10	後藤 雄介	公募委員
11	藤平 壽子	公募委員

第1回 会議議事録ハイライト（令和8年6月26日開催）

就任の挨拶と専門分野からの提言

【前田耕司 会長】

早稲田大学で29年間、生涯教育学専修に所属してまいりました。歴史的に社会教育は民主主義の学びと深く結びついています。15期ではリカレント教育や共生社会、世代間交流等を検討しましたが、16期では中教審の最新動向でもある『ウェルビーイングの実現』を柱に加え、千代田区にとって真に必要な生涯学習の姿を活発に議論していきたいと思います。

【佐藤千津 副会長】

ICUで比較国際教育学や教職課程を担当しております。新九段生涯学習館の基本構想検討会にも関わっており、推進委員会での理念検討と学習館での実践の『橋渡し』を果たしたいと考えています。人生100年時代において、あらゆる人が学びたいときに学べる新しい生涯学習の形を千代田区から発信してまいりましょう。

各委員からの自己紹介と地域への思い

【阿部委員（文化連盟）】

絵画・書道・生け花などの文化芸術サークル団体を代表して参加。区民の豊かな文化活動を支えたい。

【大場委員（スポーツ推進委員）】

区民のスポーツ推進･健康づくりに向けた手助けと計画づくりの経験を活かした貢献への意気込みを提示。

【村木委員（青少年委員）】

2年目の継続参画。提言がどのように施策に反映されるかのフィードバックの見える化の重要性を指摘。

【赤塚委員（大妻中高 校長）】

118年間千代田区に置かせていただいた恩返しをしたいと地域との連携への強い思いを表明。

【服部委員（和泉小 校長）】

学校教育の立場から地域と連携した生涯学習の推進への協力を表明。

【後藤委員（公募委員）】

エンジニア・コンサルタント。社会教育士を取得。在勤者と在住者の交流や、災害時におけるマンション自治会と地域コミュニティとの顔の見える関係づくりに生涯学習が貢献できるのではないかと提言。

【藤平委員（公募委員）】

社会教育主事の資格を保持し、他区での青少年行政経験を活かして千代田区での新しい学びに寄与したいと発言。

今期の討議テーマを読み解くキーワードと国・他自治体の動向

国（中教審）の動向と「ウェルビーイング」

中央教育審議会生涯学習分科会（社会教育の在り方に関する特別部会）では、学びを通じて個人および地域全体の「ウェルビーイング（持続的な幸せ・心身の豊かな状態）」を向上させることが議論されています。

従来の単なる「個人の自己実現」にとどまらず、学びを通じて人と人がつながり、地域課題の解決や活性化に寄与する「学びの循環モデル」の構築が求められています。

■ 地域づくりに資する省庁連携（総務省×文科省）

令和8年5月、総務省と文部科学省の連名により「地域づくりに資する関連施策の一体的推進について」が発出されました。 地域運営組織（RMO/TMO）とコミュニティ・スクール、社会教育人材（社会教育士等）を一体的に推進し、持続可能な地域社会を形成するための支援方針が示されています。

新「九段生涯学習館」への期待

千代田区で進められている新九段生涯学習館の整備計画では、コンセプトとして**「学び、つながり、未来へ『九段から始まる学びのサードプレイス』」**が掲げられています。

多様な人々が自然に交わり、歴史・文化を未来へ継承しながら、新たな挑戦を生み出す柔軟で持続可能な拠点となることが期待されています。

他自治体の先進事例（入口設計と循環モデル）

【入口設計の工夫】

講座や学習への参加ハードルを下げるため、従来の「勉強」という枠組みを外し、カフェ形式の談話会、趣味や防災などの身近な興味関心から入れるワークショップなどの設計が行われています。

【循環モデルの構築】

学習成果を「一回限り」で終わらせず、「ちよカレ」等で学んだ受講生が次の地域のリーダーや企画者（社会教育人材）となり、新たな受講生を呼び込む持続的なサイクルを形成する工夫が紹介されています。

次回開催のお知らせ

【第2回 千代田区生涯学習推進委員会議】

■ **日時：** 令和8年8月27日（木）

■ **主な予定内容：** テーマの深掘り、事例・資料に基づいた論点整理

～人生100年時代の「旅」～

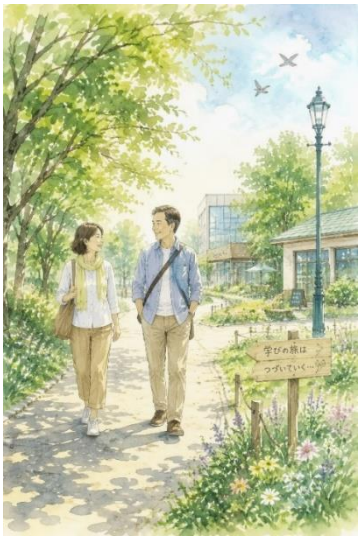
佐藤千津

学校で学び、働き、やがて引退する――従来の人生設計は、今や大きく変わりつつあります。人生100年時代といわれる今、生涯の中で何度も役割や居場所を変える「マルチステージ型人生」が注目されています。人生の節目は決して「旅の終点」ではありません。むしろ決められた時刻表をそっと手放し、自分らしい寄り道を楽しむ新たな旅の出発点なのです。

その自由な旅を支えるものの一つが生涯学習です。生涯学習には、目的地を定めて最短ルートを進む学びもあれば、あえて遠回りを楽しむ学びもあります。ときには、これまでの学び方やものの見方を見つめ直してみる。そうした「アンラーン（学びほぐし）」もまた、学びの大切な一面です。学びの中の小さな道草が日々の暮らしに彩りを添えてくれます。

新しい旅の始まりを支える拠点として期待されるのが、再整備が進む「（仮称）新九段生涯学習館」です。基本構想では「学び、つながり、未来へ―九段から始まる学びのサードプレイス」が目指す姿として示されています。そこはどこかへ向かうための単なる通過点ではありません。日常の中でふらりと立ち寄り、思いがけない出会いに足を止め、自分の「好き」を形にしながら、次の旅路を思い描ける場となるでしょう。

生涯学習とは、人生のどの地点からでも次の旅へ踏み出せるオープンチケットです。ほんの少しの好奇心を胸に、自分らしい学びの旅に出てみませんか。学ぶ喜びを分かち合い、豊かな時間とあたたかなつながりを育む――千代田区の生涯学習の未来を皆さんとともに描いていきたいと思います。



【編集／発行】千代田区　地域振興部　生涯学習・スポーツ課　〒102-8688　千代田区九段南 1-2-1
TEL：03-5211-3632　／　FAX：03-3264-1466　／　Mail：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp